

喫煙所の改善

浦橋大地 松山明日翔 平山佳苗 山口裕也

1、目的

喫煙所のエリア外で喫煙している人が多いため、
灰皿の位置を変える、プランターを置くなどをして、エリア内で吸ってもらうようにする。また、ポイ捨てをなくす。

2、内容

喫煙所のエリアが狭く、人が多いと駐輪場や向かいの教室の前にある段差で吸っている人もいるため、灰皿の位置を喫煙所入り口に移動して、駐輪場付近で喫煙している人のポイ捨てを防止する。さらに、向かいの教室前の段差にプランターを設置し、そこに座って喫煙する人をなくす。

3、方法

- 喫煙所の灰皿を入り口付近に移動する
- 1 2 3 教室の前の段差にプランターを設置する

4、結果

灰皿の位置が戻されていて、十分な結果が得られなかった。

3つプランターを設置したものの、プランターの隙間やないところに座って喫煙する人が増え、プランターを足場に使っている人もいた。

5、考察

ポイ捨てやエリア外での喫煙はルールとして定められているにも関わらず、このように意味がないということは、それぞれの意識の問題であると思った。

これ以上の改善を求めるのであれば、先生方や総務課の人たちの助けがなければ現状はなにもできない。